

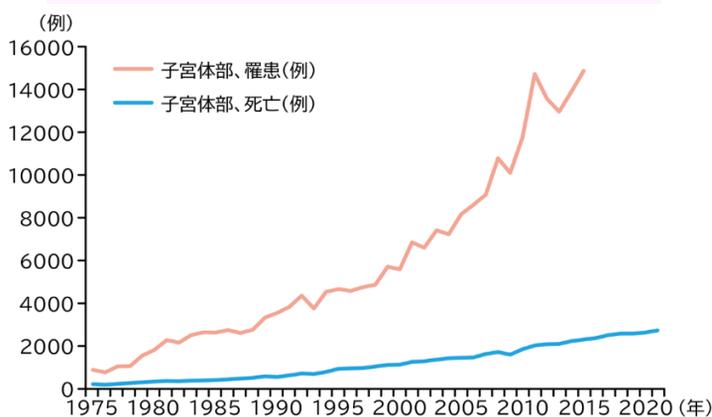
子宮内膜細胞診(子宮体がん検査)

受けてみませんか？

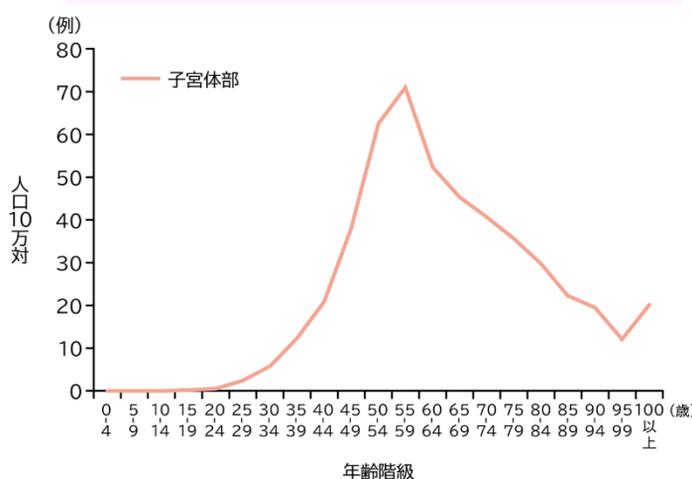
子宮体がんとはどんな病気？

子宮の奥側にある子宮内膜といわれる部位にできるがんです。
通常の子宮がん検診は子宮頸がん(子宮の腔側の部位にできるがん)の検診であり、
子宮体がん検査とは別の検査となります。

◀ 子宮体がん罹患例・死亡例 ▶



◀ 子宮体がん 年齢階級別発症例 ▶



国立がん研究センター がん情報サービス (2022年10月)



子宮体がんの好発年齢は50~60歳代です。
ここ20年で3倍以上に増えており、妊娠回数の減少や食生活の欧米化、
ホルモンバランスの乱れなどが主な原因と考えられています。

子宮内膜細胞診とはどんな検査？

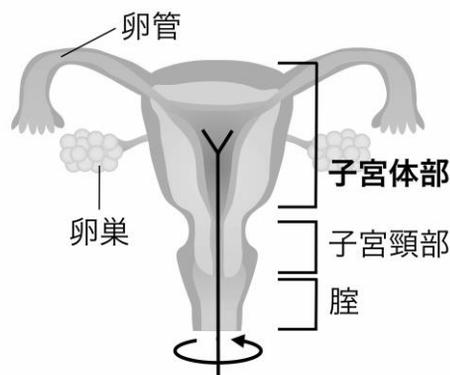
内診時、経腔超音波検査で子宮と卵巣の状態を確認した後
腔内を十分消毒します。

細長いブラシのような検査器具を子宮内に挿入し、子宮内
膜細胞を擦り取り、顕微鏡の検査に提出します。
検査結果がわかるまでには数日から数週間かかります。

※ 注意事項

10%以上が偽陰性となるため、検査結果が陰性でも症状によっては
他院への受診をお勧めすることがあります。

子宮の入り口(外子宮口)や子宮の通り道(子宮頸管)が狭くなっている方は検査を実施できない
場合があります。また、子宮、卵巣、卵管の状態によって併発症リスクが高いと判断された方、
その他高次機関での検査が望ましいと判断された方は検査を実施いたしません。



子宮内膜細胞診をお勧めする方

- 閉経後
- 糖尿病
- 高血圧
- 高度肥満（BMI 30以上）
- 不正出血がある
- 女性ホルモン（エストロゲン）服薬中
- 月経不順が続いている
- 未経産あるいは妊娠出産回数が2回以下
- 乳がんの既往があり乳腺外科医師より検査を勧められている



以下に当てはまる方は、当院ではこの検査をお受けいただけません

- 妊娠の可能性がある方（直近の月経開始後10日目以降に性交渉がある方）
- 免疫低下の可能性のある方（重度の糖尿病の方、悪性腫瘍の治療中の方、ステロイド・免疫抑制剤服用中の方、人工透析中の方など）
- 血が止まりにくくなる薬を服用中の方、血が止まりにくい体質の方
- 産後6ヶ月以内の方
- 子宮の手術後1年以内の方
- 経腔超音波検査に同意をいただけない方

子宮内膜細胞診の料金

5,500円（税込）

※ 子宮頸部細胞診、経腔超音波の両方を実施の方のみ追加可能です。

※ お受けいただくコースにより、別途それぞれの検査料金が必要な場合があります。

ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください



特定医療法人財団 博愛会

人間ドックセンターウェルネス 予約センター

☎ 0120-489-379

